

# 2019年度事業報告書

(自 2019年4月1日 至2020年3月31日)

2020年6月30日

一般財団法人石田實記念財団

## ■2019年度の事業報告及び決算報告について

2019年度 事業報告  
〈自 2019年4月1日 至 2020年3月31日〉

2019年度は、9月13日（金）に研究奨励賞選考委員会を開催し、9名の推薦者の中から研究奨励賞特別賞（石田賞）贈呈者1名と研究奨励賞贈呈者7名を選出しました。11月8日（金）開催の研究奨励賞贈呈式・研究発表会では、研究奨励賞特別賞（石田賞）を受賞された東北大学電気通信研究所准教授の吉田真人先生に賞金100万円と副賞の楯を、東北大学院工学研究科の松田信幸准教授他6名の先生方には50万円の賞金と副賞の楯を贈呈致しました。

これにより、1989年度の財団創設時より2019年度までの助成件数は235件、賞金額の合計は130,100,000円となりました。

ここに、あらためて、宮城県および関係企業の皆様、そして財団理事、監事、評議員の方々のお力添え、ご厚情に感謝申し上げます。

2019年度の事業概要は次の通りです。

### I. 財団行事

#### 1. 2019年5月17日（金）

第19回 理事会 午後6時～ 於：仙台ガーデンパレス

第1号議案 2018年度決算について〈承認〉

第2号議案 次期役員および評議員の推薦

その他

#### 2. 2019年6月7日（金）

第16回 評議員会 午後6時～ 於：仙台ガーデンパレス

第1号議案 2018年度決算について〈決議〉

第2号議案 次期役員および評議員の選出

その他

第20回 理事会

第1号議案 理事長、常務理事の選出

その他

#### 3. 2019年 6月末～

研究奨励賞推薦依頼開始

#### 4. 2019年 9月13日（金）

研究奨励賞選考委員会 午後3時～ 於：東北大学電気通信研究所本館6階 中会議室

## 5. 2019年11月 8日(金)

研究奨励賞発表会・贈呈式 午後1時～午後5時  
懇親会 午後5時30分～

## 6. 2020年3月13日(金)

第21回 理事会 午後6時～  
第1号議案 2020年度スケジュール  
その他 2019年度仮決算報告他

第17回 評議員会 午後6時～  
第1号議案 2020年度スケジュール  
その他 2019年度仮決算報告他

## II. 試験研究支援事業

先述の通り、宮城県内の大学、高等専門学校等に対し研究奨励賞候補者の推薦を依頼したところ9名の推薦があり、9月13日に開催された研究奨励賞選考委員会での審議の結果、8件の研究が採択されました。〈P4.資料-1〉

採択されたこの8件の研究の中から、東北大学電気通信研究所准教授の吉田真人先生が、研究奨励賞特別賞(石田實賞)に選出されました。

<p>光を用いた量子情報通信技術の高度化に関する研究          東北大学大学院工学研究科通信工学専攻</p>	<p>准教授 松田 信幸 先生</p>
<p>2次元半導体シートと液相界面の新規動電現象の発現・機構解明と発電デバイスの開発に関する研究          東北大学大学院工学研究科電子工学専攻</p>	<p>准教授 岡田 健 先生</p>
<p>ゼロサプレス型二分決定図を用いたグラフ列挙に関する研究          東北大学大学院情報科学研究科システム情報科学専攻</p>	<p>准教授 吉仲 亮 先生</p>
<p>X線CCD検出器のイベント抽出および駆動法の改良による性能向上に関する研究          東北学院大学教養学部情報科学科</p>	<p>准教授 村上 弘志 先生</p>
<p>双曲四元数幾何に基づく量子情報、光学の理論的枠組の拡張に関する研究          仙台高等専門学校総合工学科</p>	<p>准教授 長谷部 一気 先生</p>
<p>デジタルコヒーレントQAM伝送に関する研究          東北大学電気通信研究所</p>	<p>准教授 吉田 真人 先生</p>
<p>GISを用いた空間情報の可視化による地域防災支援に関する研究          東北学院大学工学部情報基盤工学科</p>	<p>准教授 物部 寛太郎 先生</p>
<p>物語構造のある映像の自動要約技術に関する研究          東北工業大学工学部情報通信工学科</p>	<p>准教授 井上 雅史 先生</p>

### Ⅲ. 試験研究設備設置事業

本年度はありませんでした。

#### IV. 講演会開催事業

##### 研究奨励賞贈呈者による研究発表会の開催

2019年度試験研究支援事業における研究奨励賞贈呈者による研究発表会を、同年度の主事業と位置付け、次の通り開催しました。

開催日 2019年11月8日(金)  
会場 東北大学工学部青葉記念会館 大研修室(401)

来賓	東北大学大学院工学研究科長工学部長	長坂 徹也 先生
	東北大学大学院情報科学研究科研究科長	中尾 光之 先生
	東北学院大学工学部工学部長	中沢 正利 先生
	東北学院大学教養学部情報科学科前情報科学科長	松尾 行雄 先生
	東北工業大学工学部工学部長	小林 正樹 先生
	仙台高等専門学校校長	福村 裕史 先生

研究奨励賞贈呈者による発表内容につきましては、上記Ⅱの試験研究支援事業と同じ内容となります。

#### V. 決算報告

2019年度の決算報告をさせていただきます。

貸借対照表<P.7資料-2>正味財産増減計算書<P.9資料-4>をベースに説明させていただきます。

まず、貸借対照表から説明をさせていただきます。

2. 固定資産ですが、21-2 北海道公債(額面 60,000,000 円)及び大阪市 21 年度第 3 回公募公債(額面 20,000,000 円)の満期償還と定期預金 18,000,000 円の解約によって得られた 98,000,000 円を元手に、より利回りのよい金融資産の獲得を目指して資産の運用を行いました。

この結果、2018 年度比で、投資有価証券(国債・地方債)は、-80,685,300 円、定期預金-18,000,000 円、金銭信託+50,000,000 円、投資信託(積立)+8,275,785 円、投資信託(私募投信)+2,323,253 円、投資有価証券(株式)+22,197,700 円、普通預金+12,948,968、投資信託口座+3,683,644 円となり固定資産は 707,843 円増加し、1. 流動資産と合わせた一般正味財産増加額は 744,050 円増加の 192,076,053 円となりました。

一般正味財産がプラスとなった要因は、保有している株の価格が 2018 年度より大幅に増加したことによるものです。

続きまして、正味財産増減計算書<P.9 資料-4、P.10 資料-5>につきまして説明をさせていただきます。

2019年度は、21-2 北海道公債（額面 6,000 万円）及び大阪市 21 年度第 3 回公募公債（額面 2,000 万円）が上期中に満期を迎え、これまで年 2 回あった利金の受け取りが年 1 回となったこと、受取配当金が減少したことなどにより経常収益は 2018 年度比-2,060,299 円の 914,704 円となりました。

経常費用の変動を少し詳しく見てみますと、2019 年度の（2）経常費用①事業費の講演会開催及び後援支援事費、産学官交流事業費は、創立 30 周年記念式を実施した 2018 年に比べ費用を抑えられたので各々-464,781 円、-106,619 円減少しました。

また、2019 年度は研究奨励賞贈呈者が 7 名から 8 名に 1 名増加したことにより奨励賞金が+565,400 円、創立 30 周年記念誌発行による②管理費の公告宣伝費が+1,095,852 円、役員改選に伴う会議増により役員報酬、会議費が各々+120,000 円、+123,445 円となったことなどにより経常費用は最終的に 1,473,497 円増の 8,845,736 円となりました。

これにより、経常収支は（914,704 円-8,845,736 円）=-7,931,032 円となりましたが、前述の評価益が 8,675,082 円あったことから、最終収益は（8,675,082 円-7,931,032 円）=744,050 円となりました。

評価益の内訳につきましては、2019 年度投資有価証券評価損益について<P.8 資料-3>を、財産目録等の資料につきましては<P.11 資料-6~P.13 資料-8>ご参照下さい。

また、決算報告にかかる内部監査報告書は P.14 資料-9、外部監査報告書は P.15~16 資料-10) となっております。

## 貸借対照表

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	21,339	2,121	19,218
普通預金A	3,983,441	3,663,525	319,916
普通預金B	124,685	50,332	74,353
普通預金C	7	7	0
預金	0	62,388	△ 62,388
投資信託口座	800,000	800,000	0
仮払金	153,621	468,513	△ 314,892
流動資産 合計	5,083,093	5,046,886	36,207
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金（三菱UFJ信託）	12,948,968	0	12,948,968
投資信託口座	3,683,644	0	3,683,644
金銭信託	50,000,000	0	50,000,000
定期預金	0	18,000,000	△ 18,000,000
投資信託（積立）	32,389,659	24,113,874	8,275,785
投資信託（私募投信）	2,323,253	0	2,323,253
投資有価証券（国債・地方債）	17,497,500	98,182,800	△ 80,685,300
投資有価証券（株式）	68,181,700	45,984,000	22,197,700
基本財産 合計	187,024,724	186,280,674	744,050
(2) その他の固定資産			
工具・器具	40,236	76,443	△ 36,207
その他の固定資産 合計	40,236	76,443	△ 36,207
固定資産合計	187,064,960	186,357,117	707,843
資産合計	192,148,053	191,404,003	744,050
II 負債の部			
未払法人税等	72,000	72,000	0
負債合計	72,000	72,000	0
III 正味財産の部			
一般正味財産	192,076,053	191,332,003	744,050
（うち基本財産への充当額）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 0 ）
負債及び正味財産合計	192,148,053	191,404,003	744,050

## 2019年度 投資有価証券評価損益について

勘定元帳9-3 投資有価証券評価益	金額(円)	勘定元帳9-4 投資有価証券評価損	金額(円)
		小計	4,174,324
		勘定元帳9-5 投資有価証券償還損	金額(円)
		小計	251,800
合計	13,101,206	合計	4,426,124
評価損益計		8,675,082	

## 正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	( 910,273 )	( 2,974,926 )	( △ 2,064,653 )
基本財産受取利息	549,373	1,594,926	△ 1,045,553
基本財産受取配当金	360,900	1,380,000	△ 1,019,100
② 受取寄付金	( 0 )	( 0 )	( 0 )
受取寄付金	0	0	0
③ 雑収益	( 4,431 )	( 77 )	( 4,354 )
受取利息	231	77	154
雑収入	4,200	0	4,200
経常収益計	914,704	2,975,003	△ 2,060,299
(2) 経常費用			
① 事業費	( 5,743,322 )	( 5,718,328 )	( 24,994 )
・ 試験研究支援事業費	( 5,120,010 )	( 4,523,616 )	( 596,394 )
奨励賞金	4,830,000	4,264,600	565,400
役員報酬	140,000	120,000	20,000
旅費交通費	35,000	30,000	5,000
試験研究支援事業費支出(雑支出)	115,010	109,016	5,994
・ 講演会開催及び後援事業費	( 493,312 )	( 958,093 )	( △ 464,781 )
諸謝金	0	0	0
役員報酬	160,000	140,000	20,000
旅費交通費	61,500	197,820	△ 136,320
会場諸費	247,670	335,841	△ 88,171
負担金支出	0	0	0
雑費	24,142	284,432	△ 260,290
・ 産学官交流事業費	( 130,000 )	( 236,619 )	( △ 106,619 )
寄附金	130,000	236,619	△ 106,619
雑費	0	0	0
② 管理費	( 3,102,414 )	( 1,653,911 )	( 1,448,503 )
役員報酬	360,000	240,000	120,000
会議費	402,690	279,245	123,445
旅費交通費	273,920	156,313	117,607
通信費	114,366	87,455	26,911
事務用消耗品費	107,433	106,814	619
広告宣伝費	1,376,292	280,440	1,095,852
雑費	42,003	17,810	24,193
支払手数料	316,303	373,877	△ 57,574
法人税等	72,000	72,000	0
減価償却	36,207	36,207	0
租税公課	1,200	3,750	△ 2,550
経常費用計	8,845,736	7,372,239	1,473,497
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,931,032	△ 4,397,236	△ 3,533,796
基本財産評価損益等	8,675,082	△ 31,425,098	40,100,180
評価損益等計	8,675,082	△ 31,425,098	40,100,180
当期経常増減計	744,050	△ 35,822,334	36,566,384
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	744,050	△ 35,822,334	36,566,384
一般正味財産期首残高	191,332,003	227,154,337	△ 35,822,334
一般正味財産期末残高	192,076,053	191,332,003	744,050
II 正味財産期末残高	192,076,053	191,332,003	744,050
※ 投資有価証券評価益		13,101,206	
投資有価証券評価損		4,174,324	
投資有価証券償還損		251,800	
評価損益等計		8,675,082	

正味財産増減計算書内訳書  
2019年4月1日から2020年3月31日まで

科目	公益目的事業		法人会計 (管理費)	内部取引等消去	合計 (A)	2018年度 決算 (B)	差異 (A-B)
	継1	共通					
Ⅰ 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	( 750,000 )	( 0 )	( 160,273 )	( 0 )	( 910,273 )	( 2,974,926 )	( △ 2,064,653 )
基本財産受取利息	750,000	0	△ 200,827	0	549,173	1,594,926	△ 1,045,753
基本財産受取配当金	( 0 )	( 0 )	360,900	( 0 )	360,900	1,380,000	△ 1,019,100
② 受取高附金	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )
③ 補収債	( 0 )	( 0 )	( 4,431 )	( 0 )	( 4,431 )	( 77 )	( 4,354 )
受取利息	0	0	231	0	231	77	154
雑収入	750,000	0	4,200	0	4,200	0	4,200
経常収益計	750,000	0	164,704	0	914,704	2,975,003	△ 2,060,299
(2) 経常費用							
① 事業費	( 5,743,322 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 5,743,322 )	( 5,718,328 )	( 24,994 )
・ 経理研究支援事業費	( 5,120,010 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 5,120,010 )	( 4,523,616 )	( 596,394 )
奨励費	4,830,000	0	0	0	4,830,000	4,264,600	565,400
役員報酬	140,000	0	0	0	140,000	120,000	20,000
旅費交通費	35,000	0	0	0	35,000	30,000	5,000
雑費	115,010	0	0	0	115,010	109,016	5,994
・ 講演会開催及び後援事業費	( 493,312 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 493,312 )	( 958,093 )	( △ 464,781 )
奨励金	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	160,000	0	0	0	160,000	140,000	20,000
旅費交通費	61,500	0	0	0	61,500	197,820	△ 136,320
会議費	247,670	0	0	0	247,670	335,841	△ 88,171
負担金支出	0	0	0	0	0	0	0
雑費	24,142	0	0	0	24,142	284,432	△ 260,290
・ 運営交流事業費	( 130,000 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 130,000 )	( 236,619 )	( △ 106,619 )
寄附金	130,000	0	0	0	130,000	236,619	△ 106,619
雑費	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )
② 管理費	( 0 )	( 0 )	( 3,102,414 )	( 0 )	( 3,102,414 )	( 1,653,911 )	( 1,448,503 )
役員報酬	0	0	360,000	0	360,000	200,000	160,000
会費	0	0	402,690	0	402,690	279,245	123,445
取寄金	0	0	273,920	0	273,920	156,313	117,607
通信費	0	0	114,366	0	114,366	87,455	26,911
事務用品消耗品費	0	0	107,433	0	107,433	106,814	619
広告宣伝費	0	0	1,376,292	0	1,376,292	280,440	1,095,852
雑費	0	0	42,003	0	42,003	17,810	24,193
支払手数料	0	0	316,303	0	316,303	373,877	△ 57,574
法人税等	0	0	72,000	0	72,000	72,000	0
減価償却費	0	0	36,207	0	36,207	36,207	0
租税公課	0	0	1,200	0	1,200	3,750	△ 2,550
経常費用計	5,743,322	0	3,102,414	0	8,845,736	7,372,239	1,473,497
経常外収益	△ 4,993,322	△ 4,993,322	△ 2,937,710	0	△ 7,931,032	△ 4,397,236	△ 3,533,796
経常外費用	0	0	8,675,082	0	8,675,082	△ 31,425,098	40,100,180
経常外増減額	△ 4,993,322	△ 4,993,322	8,675,082	0	8,675,082	△ 31,425,098	40,100,180
当期経常増減計	△ 4,993,322	△ 4,993,322	5,737,372	0	744,050	△ 35,822,334	36,566,384
(1) 経常外収益	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(2) 経常外費用	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )
経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,993,322	0	5,737,372	0	744,050	△ 35,822,334	36,566,384
一般正味財産増減高					191,332,003	227,154,337	△ 35,822,334
一般正味財産増減未残高					192,076,053	191,322,003	744,050
Ⅱ 指定正味増減の部							
当期指定正味財産増減額					0	0	0
指定正味財産増減高					0	0	0
指定正味財産増減未残高					0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高					192,076,053	191,332,003	744,050

## 財産目録

2020年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I. 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金預金		
現金	現金手元有高	21,339
普通預金		3,983,441
普通預金		124,685
普通預金		7
預金		0
投資信託口座		800,000
仮払金⑥	(受取利息配当金の源泉所得税他)	153,621
	現金預金 合計	5,083,093
	流動資産 合計	5,083,093
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
現金預金		
普通預金		12,948,968
投資信託口座	現金預金計	16,632,612
投資有価証券(国債・地方債)		
国債	第144回20年国債	17,497,500
	(期間20年 年利1.5%、満期H43年3月20日)	
	債券計	17,497,500
投資有価証券(株式)		
A		2,250,000
B		56,721,000
C		1,766,000
D		2,634,000
E		902,100
F		1,145,750
G		1,641,600
H		1,121,250
	株式計	68,181,700
投資信託(株式積立)		
A		11,026,264
B		10,740,848
C		10,622,547
投資信託(私募投信)		
A		2,323,253
	投資信託計	34,712,912
金銭信託		
A		50,000,000
	金銭信託計	50,000,000
	基本財産 合計	187,024,724
(2) その他の固定資産		
工具・器具	測定器他計7点	40,236
	その他の固定資産 合計	
	固定資産合計	187,064,960
	資産合計	192,148,053
<b>II. 負債の部</b>		
1. 流動負債		
未払法人税等		72,000
	流動負債合計	72,000
	負債合計	72,000
	正味財産合計	192,076,053

## 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について  
 その他の有価証券  
 時価のあるもの・・・時価法を採用している。  
 時価のないもの・・・原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却について  
 工具・器具・・・・・・・・・・・・・・・・定額法による減価償却を実施している。
- (3) 消費税等の会計処理・・・税込方式を採用している。

## 2 基本財産の増減額及びその残高は次の通りである。

単位：円

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
現金預金	0	16,632,612	0	16,632,612
投資有価証券(債券)	98,182,800	0	80,685,300	17,497,500
投資有価証券(投資信託)	24,113,874	13,420,000	2,820,962	34,712,912
投資有価証券(株式)	45,984,000	23,117,562	919,862	68,181,700
金銭信託	0	50,000,000	0	50,000,000
定期預金	18,000,000	0	18,000,000	0
合計	186,280,674	103,170,174	102,426,124	187,024,724

## 3 基本財産の財源等の内訳は次の通りである。

単位：円

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
<b>基本財産</b>				
現金預金	16,632,612	0	16,632,612	0
投資有価証券(債券)	17,497,500	0	17,497,500	0
投資有価証券(投資信託)	34,712,912	0	34,712,912	0
投資有価証券(株式)	68,181,700	0	68,181,700	0
金銭信託	50,000,000	0	50,000,000	0
合計	187,024,724	0	187,024,724	0

## 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次の通りで

単位：円

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具・器具	6,350,875	6,310,639	40,236
合計	6,350,875	6,310,639	40,236

## 5 金融商品の状況に関して

- (1) 金融商品に対する取組方針  
 当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。
- (2) 金融商品の内容及びリスク  
 投資有価証券は、債券、株式、投資信託であり、発行対の信用リスク、市場価格のリスクにさらされている。
- (3) 金融商品の内容及びリスクに係る管理体制  
 ①信用リスクの管理  
 債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。  
 投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。  
 ②市場リスクの管理  
 株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。  
 投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。

## 付属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2に記載のとおりである。

### 2 引当金の明細

該当なし。

## 監査報告書

2020年5月1日

一般財団法人石田實記念財団  
理事長 根元 義章殿

一般財団法人石田實記念財団  
監事 川又 政征



監事は、2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度の公益目的支出計画報告書に関する監査を致しました。その方法及び結果について、次のとおり報告致します。

### 1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意志疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

### 2. 監査意見

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

## 独立監査人の監査報告書

2020年4月28日

一般財団法人 石田實記念財団  
理事会 御中

柴田公認会計士事務所  
宮城県仙台市青葉区二日町 13-22-803

公認会計士 柴田 純一

### 監査意見

私は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般財団法人石田實記念財団の2019年4月1日から2020年3月31日までの2019年度事業年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、正味財産増減の状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事長は、継続事業の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

### 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示のリスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示のリスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの

合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- 理事者が継続事業を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

■一般財団法人石田實記念財団 理事・監事・評議員名簿

一般財団法人石田實記念財団 役員および評議員（2019年度）

	役職名	氏名 (敬称略)	現職 《2019年6月30日現在》
1	理事長	根元 義章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北大学名誉教授</li> <li>・国立研究開発法人 情報通信研究機構耐災害ICT研究センター 統括特別研究員</li> </ul>
2	常務理事	米谷 恭児	大井電気株式会社第三営業本部副本部長 兼同本部営業1部長
3	理事	澤谷 邦男	東北大学名誉教授
4	理事	鈴木 陽一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北大学名誉教授</li> <li>・国立研究開発法人 情報通信研究機構耐災害ICT研究センター長</li> </ul>
5	理事	石田 甲	大井電気株式会社 代表取締役社長
6	理事	金井 義和	日本フィールド・インテリッジ株式会社 代表取締役社長
7	理事	富田 雄介	岩田合同法律事務所 弁護士
8	監事	川又 政征	東北大学大学院工学研究科電子工学専攻 教授
9	監事	飯嶋 正光	三菱UFJ信託銀行株式会社 仙台支店長
10	評議員	上杉 直	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北工業大学名誉教授</li> <li>・東北工業大学シニアアドバイザー</li> </ul>
11	評議員	田中 繁寛	大井電気株式会社 常務取締役 管理統括
12	評議員	長瀬 平明	大井電気株式会社 常務取締役 仙台研究開発センター長
13	評議員	伊藤 努	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北大学 未来科学技術共同研究センター（NICHe） 文部科学省地域イノベーション・エコシステム 形成プログラム 事業プロデューサー 特任教授（客員）</li> <li>・国立研究開発法人 産業技術総合研究所 東北センター シニアマネージャー</li> </ul>
	事務局	桜井 康二	大井電気株式会社 仙台研究開発センター総務G

以上